

平成28年度全国学力・学習状況調査結果から

武佐小学校

〔これまでの課題解決への重点的な取組〕

1. 授業では
 - (1) 国語
 - ①校内研究で取り組んでいる「書くこと」を重視した学習展開をより深めます。
 - (2) 算数
 - ①分数や割合の問題を学力アップタイムや放課後学習会の時間に復習します。
 - (3) 規律
 - ①鉛筆の持ち方、聞き方名人、話し方名人をより意識した指導を行います。
2. 家庭では
 - (1) 家庭学習がんばり週間を設け、家庭学習の時間を増やし、自主学習ノートを活用します。

〔成果〕

- 読み書き計算などの基礎的な力は身につけてきている。(学力アップやスマイル学習会の成果)
- 漢字の読み書きなど、基礎的な力はついている。
- 無回答率がこれまでよりも低くなり、時間いっぱい問題に取り組むことができるようになってきている。
- 起床時刻や朝食の摂取率はたいへんよくなってきている。

〔課題〕

- ▲自分の考えを書いたり発表したり、数学的な考え方をまとめたりすることに弱さが見られる。
- ▲テレビ視聴やゲームの時間、さらには携帯電話(ゲーム機能や SNS 等)を使用している時間などが長いこと。
- ▲読書をする子としない子の二極化が見られること。
- ▲与えられなければ勉強しない(予習や復習、苦手な教科の勉強などほとんどしない)が多いこと。

〔今後の課題解決への重点的な取組〕

1. 基本的な生活習慣の確立
 - (1) 基本的な生活習慣や学習習慣を身につけるため、さらに「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動に取り組み、学習課題としっかり向き合う姿勢作りにつなげます。
(遅刻等がないように家庭と連携して、きちんと学習に向き合えるようにします。)
2. 学力の定着
 - (1) 集中して学習活動に取り組み、子どもたちが意欲的に学習したくなるような授業づくりを進めることで、基礎的基本的な学力の定着につなげていきます。
3. ルール作り
 - (1) 学習環境を整え、学習の約束をみんなで意識しながら、話すこと・聞くこと、ノート指導を丁寧に進めていきます。
 - (2) 授業の「めあて」「学習の見通し」「学習の過程」「振り返り」を意識した丁寧な授業づくりを今後も進めていきます。